

LETTER FROM COPENHAGEN コペンハーゲン通信 PART VII 5



わが家のバルコニーにも彩りを添えて

デンマーク流Stay Homeの クオリティーアップ

5月中旬、デンマーク政府は、社会の段階的封鎖解除のフェーズ2（小売業の再開、レストランの条件付き再開等）を開始、8月初めのフェーズ4（完全封鎖解除）に至るまでのロードマップを発表しました。これらは今後、感染状況などの科学的根拠に基づき随時見直されるものではありますが、封鎖の完全解除に向けた長期的な目標が示されたことは、耐え忍ぶ住民の道しるべとして、ポジティブな知らせでした。

先日、「デンマーク人はコロナ禍の期間におけるストレスレベルがEUで2番目に低い」という調査結果が発表されました。要因には、政府による雇用確保策などの手厚い経済対策や、多くを望まない国民性も挙げられると思いますが、個人的には「空間としての家とそこで暮らす時間の質の高さ」もこれに寄与しているのではないかと推測しています。

一般的にデンマーク人は、住空間の改良に余念がありません。私の住むアパートの大家さん（デンマーク人）も例外ではなく、いつもわれわれにうれしい提案をしてくれます。昨年の夏は、バルコニーで過ごすためのテーブルセットを準備してくれ、先日は、バルコニー用に花のプランターを六つも抱えて、わが家を訪れてくれました。おかげで、天

デンマーク王国 DATA

人口582万人、面積4.3万平方キロ（≒九州）、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

2007年1月より本会事務局職員が在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度で高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。

小林 功人

在デンマーク日本大使館二等書記官
（経済同友会事務局より出向中）



気が良だけで気分も晴れます。このように、デンマーク人は、日頃から住空間に小さな工夫を施し、日常に彩りを加えるのが得意だと思います。

大家さんの自宅はなおさら、これまでの改良の成果が詰まっており、自宅での昼食に招待してもらった際には、自慢の家の中を案内してくれました。さらに「食後の運動だ」と、隣接している広大な自然公園の中を散歩しながら、まるで家の延長であるかのように、リラックスした時間を過ごしました。日頃から家の手入れをし、住空間に改良を重ね、そこで家族や身近な人と何気ない会話をしながら笑顔で穏やかに暮らす、そんなデンマーク人の日常を垣間見た気がしました。

「Stay Home」は一般的に窮屈な印象がありますが、不特定多数の人との接触を避けざるを得ない状況では、家で一人過ごすにせよ、家族や身内の方と過ごすにせよ、「Stay Home」の質を少しでも高め、この危機を乗り越えていくことも、デンマーク流幸せの秘訣なのかもしれません。



散歩に最適な自然公園